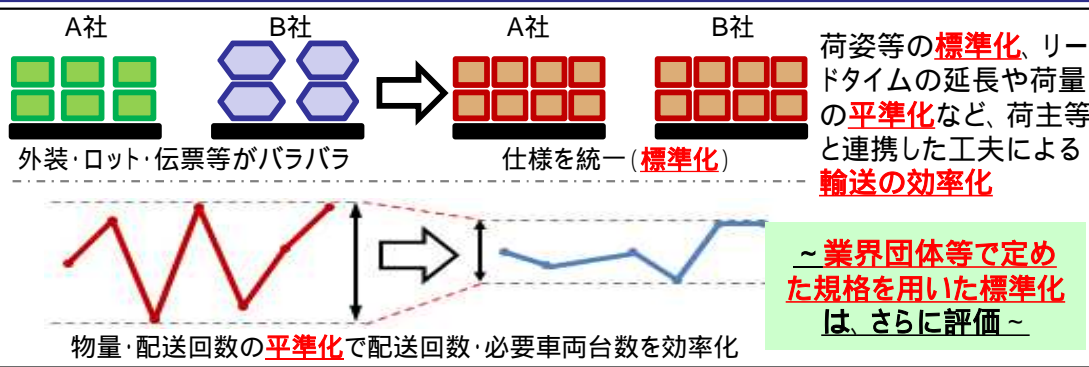
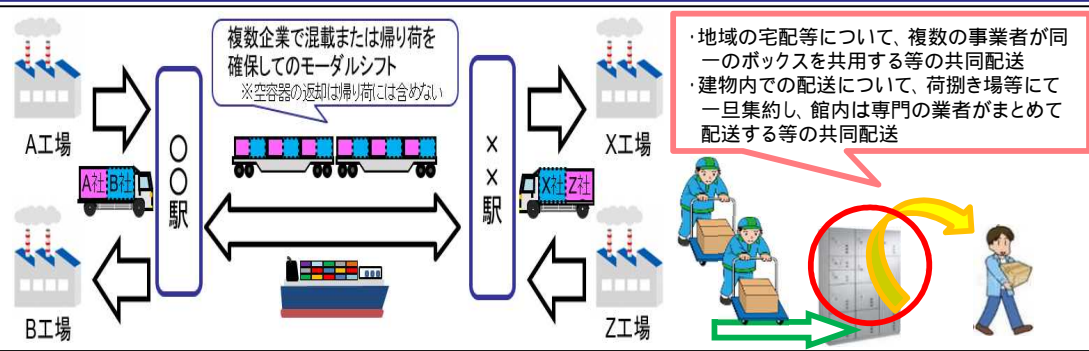


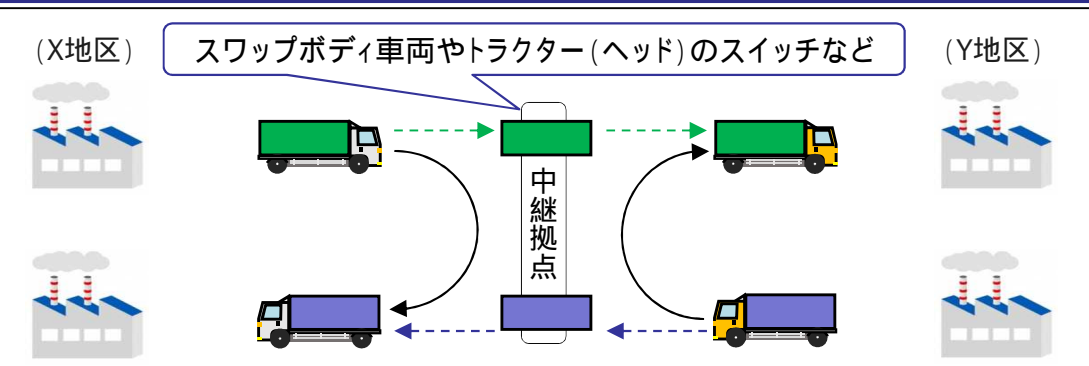
A) 荷主や輸送事業者等の連携・工夫による輸送の効率化



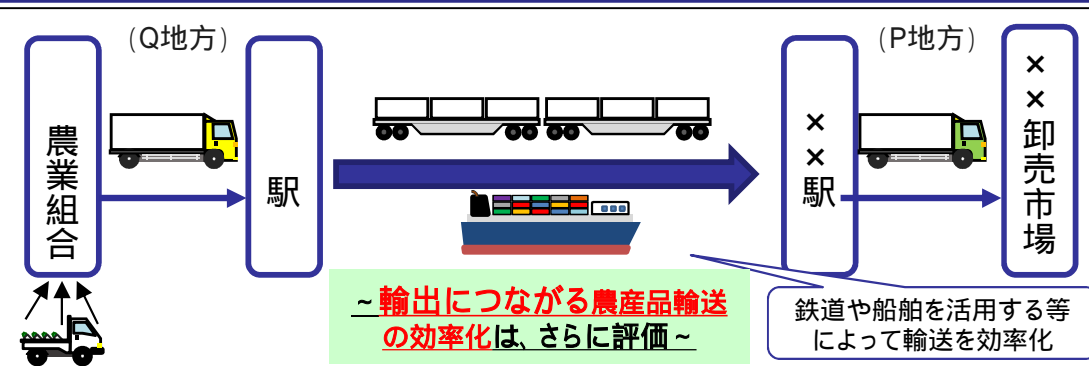
B) 複数企業による混載または帰り荷を確保したモーダルシフト、地域内や館内物流、オープン型宅配ボックス等の導入等による共同配送



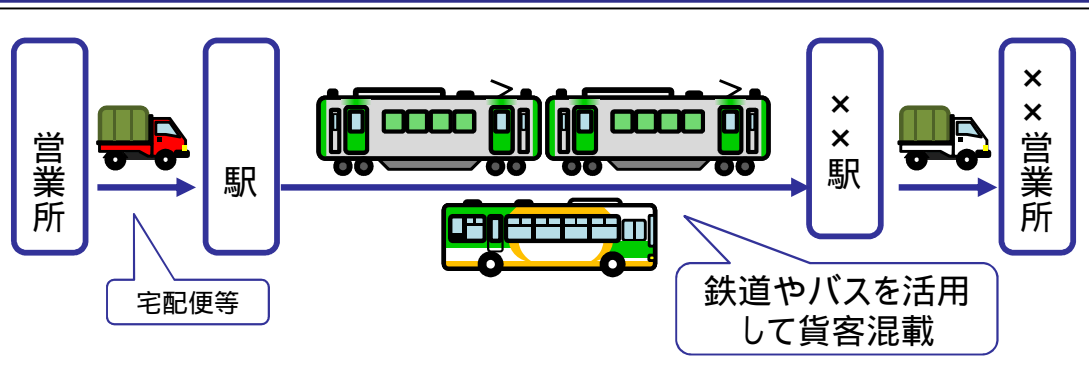
C) スワップボディーコンテナ車両等を活用した中継輸送



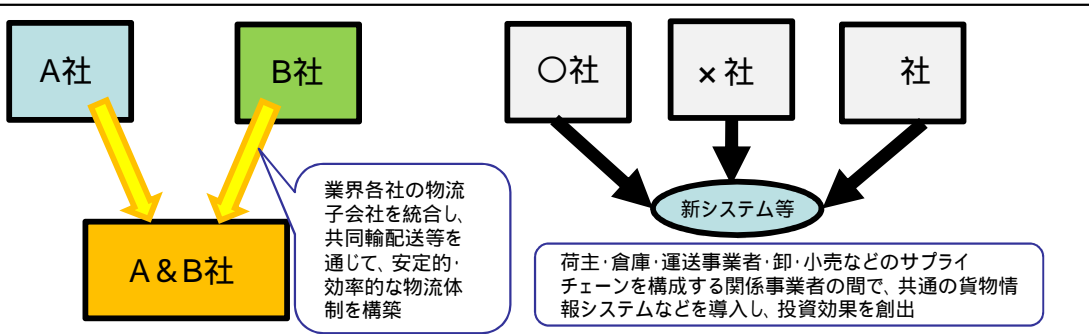
D) 鮮度保持コンテナの活用等による農産品輸送の効率化



E) 旅客鉄道等の空きスペースを活用した貨客混載



F) 物流企業内や企業間の事業再編、企業間の協調的投資を伴う輸送の効率化



上記のような案件を重点施策として優先的に採択するが、これ以外の物流効率化に資する案件も採択対象とする。